

第10回佐田時代めぐりウォーク

秋の恒例行事、「佐田時代めぐりウォーク」が今年も開催されます。昨年三年ぶりの開催で人手が心配されましたが、前回を上回る参加で大盛況。今年も沢山の方々に来ていただき、佐田の風景や佐田小児童のキッズガイドなどを堪能していただければと思います。

また、お接待の場所として対応していただけた山蔵と内川野の方には、大変ご苦勞をお掛けしますが、よろしく願います。

ゴール（佐田地区公民館駐車場）では、ふれあい市場を開設します。

11/3（金・文化の日）

9:15 開会式

9:30 スタート

参加者大歓迎



昨年の「さげもん」展示の様子
今年も楽しみ



ORコードを読み取ってカラー版が見られます



↑協力隊松裏氏の力作



地区の皆様のご自慢の農産物や加工品の出品のご協力をお願いします。

出荷用シールは事務局に用意していますので、お気軽に声をかけてください。

※販売はスタッフで行います。販売価格の一〇%を手

数料としていただきます。スタッフとしての協力も大歓迎です。事務局まで連絡ください。

佐田のまち中を進むと、賀来誠一さん方で、昨年に引き続き、ギャラリーに「さげもん」など様々な作品の展示をして下さり、花を添えてくれます。

佐田時代めぐりウォーク

第152号



スマホでカラー版を見ることが出来ます

古紙・アルミ缶を回収します

とき:11月18日(土)

8:00~11:00

場所:佐田地区公民館駐車場

出せるもの:新聞・雑誌・段ボール等紙類&アルミ缶



出せないもの:ビン類・スチール缶・衣類



※ 持ち込まれる際は、持ち運びができる程度に荷造り紐等で梱包して(アルミ缶はビニール袋に入れていただきますようご協力をお願いします。

※ 自動車をお持ちでない方は、11月17日(金)に事務所へ電話で連絡していただくと対応いたします。 事務局 ☎44-0312

佐田地区まちづくり協議会は、宇佐市よりリサイクル推進団体の登録を受け、環境保全の一助となればとの思いからリサイクル活動に取り組んでいます。

回収で得た収益は、まちづくり協議会の活動に有意義に活用させていただきます。

区長会による
粗大ごみ回収

とき:11/12(日)

9:00~15:00

場所:轟の池横

祝 敬老会開催 寿

九月一九日、令和元年開催から実に四年ぶりに「敬老会」を開催しました。

今回も、くるみ座とゆかいな仲間たちが中心となつて、出席者を笑いと涙の渦に巻き込んでくれました。

踊り、歌、体操そして今年には院内から賀来成美さんをお招きして腹話術を披露していただきました。

そして帰ってきた、くるみ座による劇「寅さん」。

アドリブ満載、涙を流しながら大笑いする方々、もつともつと長生きできるパワーを充電できたことでしょう。

まだまだ観たいという声に後ろ髪をひかれつつ、くるみ座とゆかいな仲間たちはステージをおりました。

これにも、また来年の開催でお会いしましょう、それまでお元気で：お腹いっぱいにせず、次への期待と欲を持つてもらふことで、健康で長生きしてもらおうという狙いがあったのです。ホンマかいな。(笑)



会場は割れんばかりの超満員？
まだまだ座れます。来年のお越しを待っています。

座長は司会から台本作り、演出、何でもこなします



俳優陣の熱演風景



最後はみんなで炭坑節

くるみ座俳優陣揃い踏み



大分トリニータ農業コラボ事業

サッカーJ2大分トリニータとコラボし、佐田小学校児童と年間を通じて農業体験等で交流を進めている「トリニータ」事業。

春は雨天の影響もあり、田植えを中止し、交流会から始まったこの事業、時は流れ、稲はすくすくと生長し、一〇月二十九日に稲刈り体験を行いました。

少し雲が出て、暑くもなく良い気候の下、大分トリニータから、松本怜CROと高橋祐翔、佐藤丈晟両現役若手選手が参加してくれました。

教頭先生から稲刈りの手順の説明を受け、稲刈りスタート。ほとんどの児童が初めての体験で、見る方は手を切らないでとハラハラ、けれども子供たちは、最初はぎこちなく見えただけ、見る見るうちに上達し、みんなで協力し、最後まで全て刈り終えました。

子供たちの対応力に感心し、可能性を感じた瞬間でした。

最後の最後でマムシと遭い、トリニータとコラボし、佐田小学校児童と年間を通じて農業体験等で交流を進めている「トリニータ」事業。

春は雨天の影響もあり、田植えを中止し、交流会から始まったこの事業、時は流れ、稲はすくすくと生長し、一〇月二十九日に稲刈り体験を行いました。

少し雲が出て、暑くもなく良い気候の下、大分トリニータから、松本怜CROと高橋祐翔、佐藤丈晟両現役若手選手が参加してくれました。

教頭先生から稲刈りの手順の説明を受け、稲刈りスタート。ほとんどの児童が初めての体験で、見る方は手を切らないでとハラハラ、けれども子供たちは、最初はぎこちなく見えただけ、見る見るうちに上達し、みんなで協力し、最後まで全て刈り終えました。

子供たちの対応力に感心し、可能性を感じた瞬間でした。



ニータンも稲刈り
選手と子供たちも仲良く協力
みんな息ぴったり

